



冬期休業が終わり、後期の後半が始まりました

1月8日(木)に開講式を行い、後期の後半がスタートしました。3月には卒業式や高校入試が控えているため休業日も多く、卒業生は残り24日、在校生は残り37日となりました。この後は、卒業考査(最終考査)や卒業生を送る会、食育講座など、年度のまとめにふさわしい行事が続きます。一つひとつの活動を大切にしながら、今年度の締めくくりと次年度への確かなステップにつなげていきたいところです。

○自衛隊地方協力本部の指導により AED 講習会が行われました

1月14日(水)、体育の授業の一環としてAED講習会を実施しました。講師には、自衛隊佐賀地方協力本部に所属する現役自衛官の方をお招きしました。講師の方は、日頃、自衛官の募集や広報活動などを担当されており、今回は実際の訓練で培われた救急救



命の知識と経験をもとに、AEDの使用方法や心肺蘇生の重要性について、丁寧かつ分かりやすくご指導くださいました。

はじめに全体で基本的な流れを確認し、その後は3つのグループに分かれて実技を行いました。傷病者を発見した際にどのように行動すべきか、実際の手順を体験しながら学ぶ貴重な機会となりました。

生徒代表からは、「倒れている人を見かけても、これまでは何もできなかったかもしれませんが、今日学んだことを生かし、自分にできることを実践したいと思います。本日はありがとうございました。」と感謝の言葉が述べられました。

○**星空学習会**が開催されました～夜間定時制ならではの取り組み～

1月22日(木)、佐賀市星空学習館にて星空学習会を実施しました。本校では4年前に理科の授業の一環として同館を訪問しましたが、今回は生徒会からの「校外学習の機会を増やしてほしい」という要望を受け、学校行事として初めての開催となりました。

当日は厳しい冷え込みでしたが、生徒たちはしっかりと防寒対策を整え、同窓会のマイクロバスで会場へ向かいました。到着時は曇り空でしたが、屋上に上がった際に西の空の雲が切れ、月齢3.3日の四日月を観望することができました。双眼望遠鏡をのぞいた生徒たちからは歓声上がり、思わず笑顔がこぼれていました。

本来はドーム型の天体観測室で木星や土星を観測する予定でしたが、天候の関係で室内見学と説明のみとなりました。それでも、夜空の観望後には、月や宇宙に関するお話、そして「月に不時着した宇宙船からの脱出」をテーマにしたアクティブラーニングが行われ、興味を引きつける内容に生徒たちは熱心に取り組んでいました。

生徒たちは、普段の授業とは異なる体験を通して、宇宙への関心をさらに深めることができたようです。

